

公園内で見られる昆虫と動植物



【フタオチョウ】

樹冠を飛び回り、後翅に二つの尾を持つ美しいフタオチョウ。日本では沖縄だけに生息する。県指定天然記念物。



【アカタテハ】

ランタナの花や草花が大好きな真っ赤なフタオチョウ。真夏より気温の低い時期に多く見られる。



【シロオビアゲハ】

民家周辺や公園、沖縄のどこにでもいるアゲハチョウの代表で数も多い。真っ赤なブツウゲの花が大好き。



【オオゴマダラ】

日本のチョウでも有数の大きさを誇り、飛び方もゆるやか。蛹は黄金色をしているので、日本中の昆虫園で展示され、沖縄の小学校でも飼育されることが多い。



【オリオオコウモリ】

木の実や新芽が大好きな大型のフルーツバット。早朝や夕方に飛び回る姿をよく見かける。



【キジバト】

最も身近な野鳥で、よほど脅かさない限り逃げない。人なつこく近づいてはエサをねだる。



【テッポウユリ】

沖縄に自生する花で、世界的に愛されている白いユリ。公園内各地にも生育し、初夏の開花の時期には甘い香りを漂わせる。



【クチナシ】

初夏に咲く風車のような花は、甘い香りを漂わせ、庭木や垣根として使われる。秋に色づく実は天然の染色材として重宝される。



【ゲットウ】

方言でサンニンと呼ばれ、全草に独特な芳香があり、防菌効果があるとされている。幅広い葉は餅を包む材料として知られ、繊維はロープの代用に使う。



【リュウキュウマツ】

沖縄を代表する樹木で、山に苗が植えられ大きく育つと用材として使われる。庭木、防風林、街路樹としても幅広く植えられている。沖縄県木。

「自然豊かな緑を守り、人々の憩いと心の豊かさを創造する」

浦添大公園は、浦添市の北東部の宜野湾市と隣接した場所に位置し、敷地は西側から南側へ湾曲した2本の小稜線によって区切られ、稜線部の標高は130mで市域が一望できる格好な眺望点となっています。

また、公園内には、国の史跡「浦添城跡」県指定史跡の「浦添貝塚」「伊祖の高御墓」があります。都市部近郊でありながら、森林浴や川のせせらぎの音が聞こえる自然豊かな安らぎ空間を提供しています。

浦添大公園位置図



- 浦添総合病院から徒歩10分→琉球バス
- 浦添牧港線伊祖4丁目バス停下車すぐ
- 沖縄自動車道西原インターから5分
- 駐車場270台 無料 大型バス専用有
- 駐車場利用時間 9:00~21:00(年中無休)

浦添大公園

〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖115-1
電話(098)873-0700 FAX(098)873-0714
okiryoku.org/park/

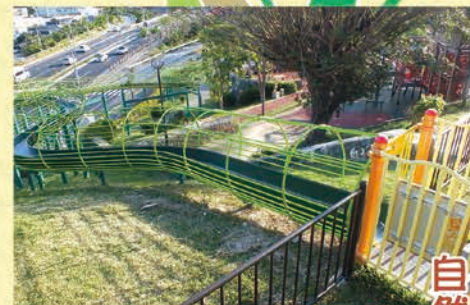
公園指定管理者
沖縄県緑化種苗協同組合 〒903-0118 沖縄県西原町字小覇津357-1
TEL:098-946-0840 FAX:098-946-9783



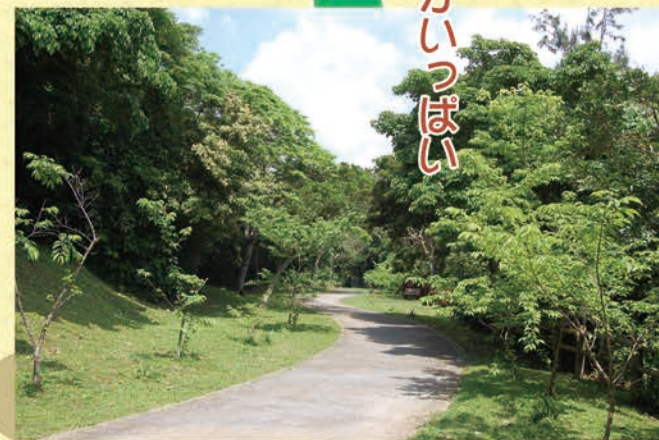
うらそえだいこうえん

浦添大公園

遊び場たくさん



自然がいっぱい



浦添大公園



入口広場



大人気の遊び広場



展望台入口

ふれあい広場ゾーン

ふれあい広場ゾーンは、子供からお年寄りがそれぞれの目的で活動できるスペースとして、遊び広場、展望広場、芝生広場の3つの広場を中心に構成されています。遊び広場の遊具の足下には、転んでもケガがないようにクッション性の高いカバーを敷いて利用者から喜ばれています。



展望台からの眺望



伊祖の高御墓



浦添城跡入口



浦添グスク・ようどれ館



伊波普猷の墓



南エントランス



浦添城跡



浦添ようどれ



憩いの広場ゾーン

憩いの広場ゾーンは大部分が木々に囲まれ、ゆんたくひろば、こどもひろば、多目的広場、牧港川沿いの散歩路等、4つのエリアを中心に構成されています。



干支橋



多目的広場



ゆんたく広場



当山橋



普天満参詣道

歴史学習ゾーン

歴史学習ゾーンは、浦添城跡の当時の姿を再現し、出土した遺物等を通して浦添グスクや沖縄（浦添）のたどってきた歴史を深く理解する場として位置づけられています。

